

概要報告書

2022 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	NPO 法人 アジア太平洋地域アディクション研究所
事業名	薬物事犯者に対する回復支援コーディネート事業
<p>薬物依存症の回復プログラムや治療が必要な人に具体的な道筋をコーディネートするのが当法人の活動です。特に、薬物犯罪の裁判中の人に対して、保釈を取ってダルクに入寮するお手伝いをします。また、受刑中の人に出所後に帰住するダルクを紹介する時には、施設長やスタッフたちの顔を思い浮かべながら、どの人がいるところだったらうまく生活していけるだろうかということを考えて紹介します。これをマッチングサポートと言います。そして、施設長に引受人になってもらい、仮釈放のその日からダルクを帰住地としてそこに入寮できるように手配します。</p> <p>大切なことは、薬物事犯者の人たちが孤立しないようにすることです。交通宿泊費のための助成金を得ることで、当法人のクライアントに定期的に会いに行くことができ大変助かっています。</p> <p>裁判中の支援を司法サポートと言いますが、2000 年 7 月から 500 人以上をサポートしてきました。この司法サポート事業は 23 年目に入っています。裁判所や刑務所は国の機関なので全国にあります。東京で裁判を受けた人が北海道の刑務所に送られることもあります。そのため、この仕事は日本中で行っています。</p> <p>2019 年からはダルクに入寮したい人に、その人にとって最もマッチングすると思われるダルクを紹介する、マッチングサポート事業を開始しました。これは無償で行っている活動です。下の写真は群馬県藤岡市にある藤岡ダルクです。</p>	
	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。